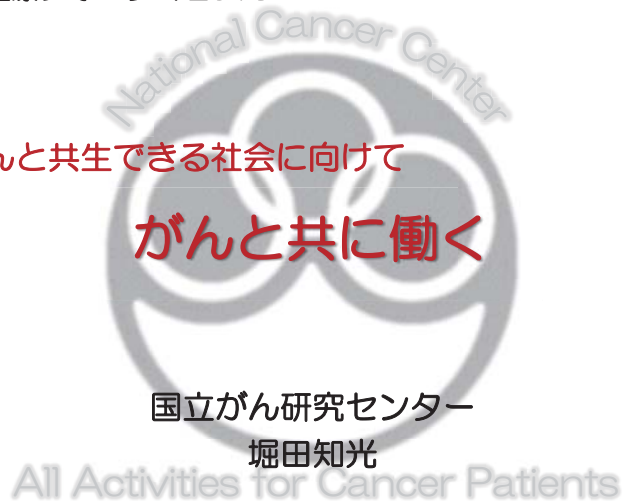
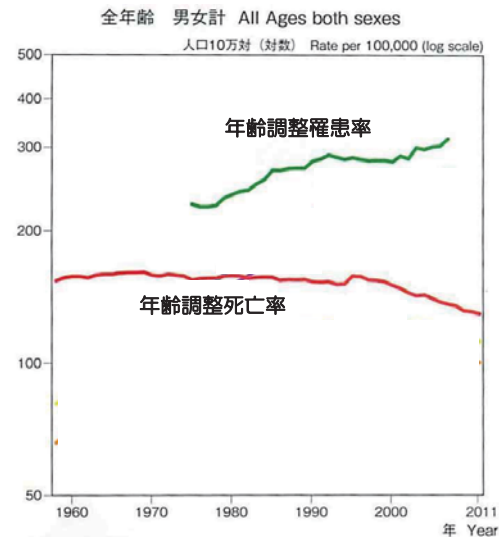


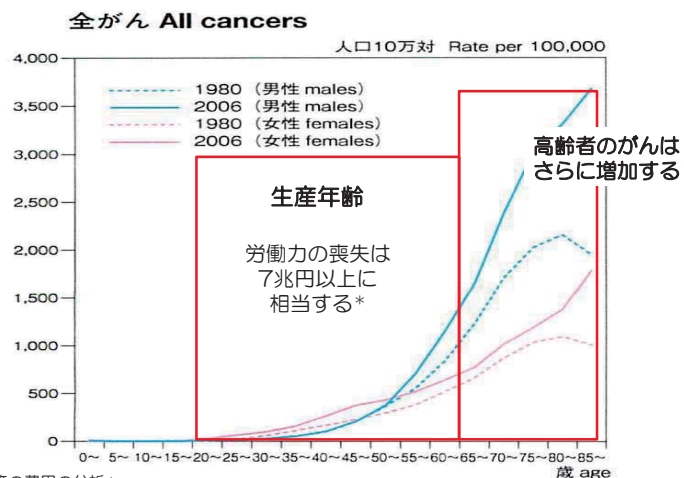
がん医療フォーラム 2013



全がんの年齢調整罹患率と死亡率の推移



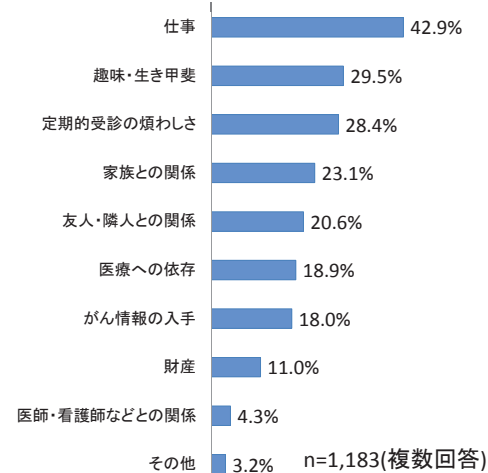
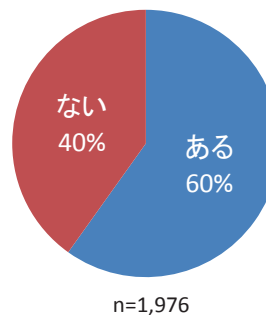
年齢階級別がん罹患率推移(1980年、2006年)



\*「がん対策の費用の分析」  
(分担研究者：福田敏平成20・21年度厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業)

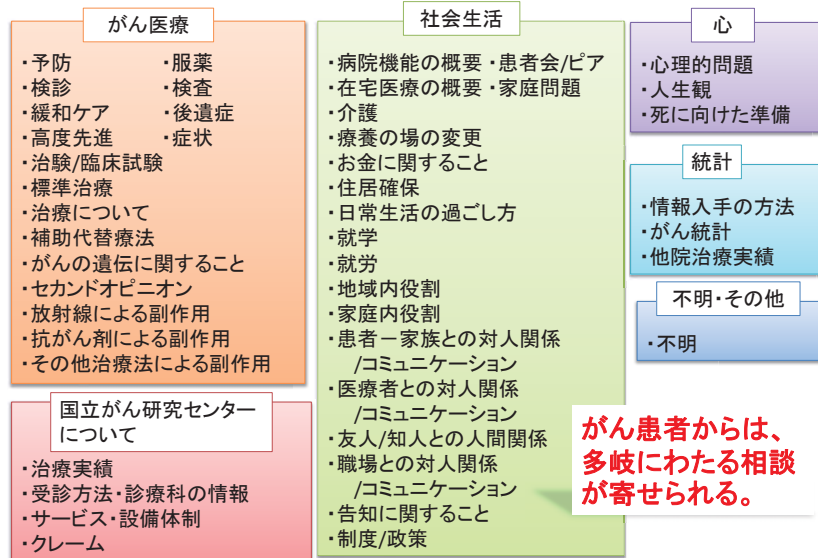
がんに関する社会的な面での困りごと

がんに関する社会的な面の困りごと

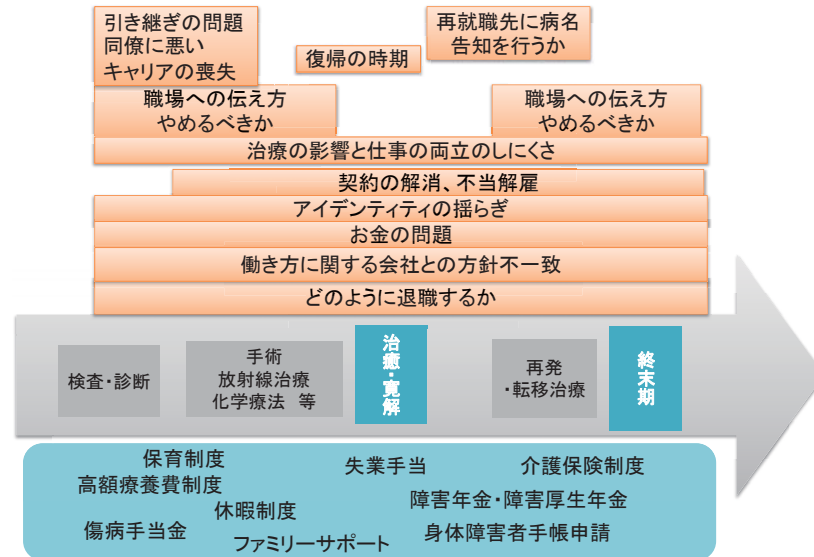


厚労科研 第3次対がん濃沼班報告書2011

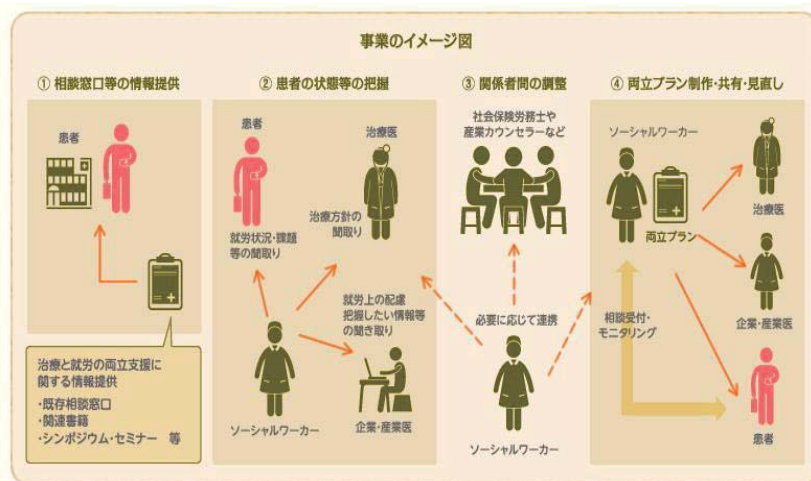
### 国立がん研究センター相談支援センターが対応する相談内容



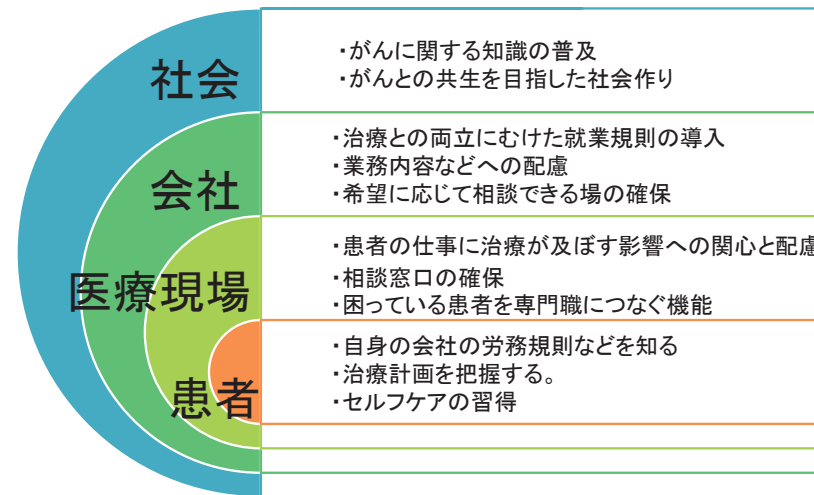
### 治療経過に伴って生じる就労問題



### がん患者における治療と職業生活の両立支援モデル事業 (2010年度厚生労働省委託事業より)



### がんになっても安心して働ける社会に向けて



独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター  
**がん情報サービス ganjoho.jp**

このサイトの使い方 お問い合わせ サイトマップ

一般の方へ 医療関係者の方へ がん診療連携拠点病院の方へ

各種がんの解説 予防と検診 診断・治療方法 がんにつき合う 統計 冊子・動画・資料 病院を探す

「がん情報サービス」では、がん対策情報センターより科学的根拠に基づく信頼性の高い最新のがん関連情報を速やかに提供していきます。

8月1日(日)1:00~4:00サービス一時停止のお知らせ

お知らせ RSSについて お知らせ一覧

2013年07月19日「がんの療養とリハビリテーション」の冊子を掲載しました。

2013年07月17日「北関東・信越ブロック 公開セミナー「がん相談支援センターを地域の支援の輪につなげる」～地域の患者さんを支えるもうひとつの連携先～(開催報告)」を掲載しました。

2013年08月27日「もしも、がんが再発したら「患者必携」本人と家族に伝えたいこと」を掲載しました。

各種がんの解説ページ

- 胃がん
- 大腸がん
- 肺がん
- 肝臓がん
- 乳がん
- その他のがんの解説

相談支援センターのページ  
 相談支援センターは

## 国立がん研究センターが提供する職場向けがん情報

社会とがん 207

がん情報サービス ganjoho.jp

身近な人ががんになったとき  
 地域・職場・学校で役立つがんの知識と情報

がんになっても安心して暮らせる社会を目指して

### 4. 職場の人ががんになったとき

#### 1 職場の同僚や部下の方へ

◆負担にならない範囲で気配りを  
 職場の同僚や上司ががんの治療を受けていることを知ったとき、また家族としてがん患者を支えていることを知ったときは、この冊子の「3. 身近なあなたに心掛けていただきたいこと」などを参考に、お互いに過度の負担にならない範囲で、コミュニケーションをとるように心掛けましょう。  
 特に、入院中のお見舞いや、職場復帰の直後などには配慮が必要です。

◆復職後も通院が続くことへの理解を  
 がんの種類や治療方法により違いはありますが、復職後も治療や経過観察のために定期的な通院が必要となる患者さんがほとんどです。  
 こうした状況は、仕事の分担や配慮すべきことがふえるなど、あなたにとってもストレスとなることもかもしれません。しかし、職場の方がどのような態度を示すかによって、患者さんやご家族の状況は全く違うものになります。あなたの負担が大きくなりすぎてしまうことのないように、上司ともよく相談し、ぜひよく理解者となっていただきますようお願いいたします。

## 「わたしも、がんでした。がんと共に生きるための処方箋」 国立がん研究センター がん対策情報センター 編 日経BP社

目次

- 悩んでいるのは自分だけじゃない
- がんは“生きる”と向き合うプロジェクトです
- がんと共に生きる、働く時代がやってきます
- 継続して働ける環境づくりが進んでいます
- ひとりで抱えない、社内で相談できる雰囲気大切です
- 支え合う仲間がいれば、気持ちも明るくなる
- がんと共に働くために、足りないこと

9月9日 発行予定

「がんと共に生きる、働く時代がやってきます」

